



Tateyama Impulse



■ 展示飛行の見どころ ■

発行元

ハミングバード PGC

2008年8月2日発行

今年も「獅子吼高原スカイフェスタ」仮装フライトが始まります。2002年から参加して来たハミングバードパラグライダークラブは、2004年以降2年ごとの参加となっていますが、2004年に「夏と言えば・・・祭りでしょう」で優勝、2006年には「戦国飛行隊」で優勝を飾り、今年2008年は「Tateyama Impulse(立山インパルス)」で参加することになりました。仮装の概念を更に進化させた演技をご覧ください。

PILOT (DOLPHIN FLYERS)



1 番機 (飛行隊長)
塚本 隆暢

パラ歴: 15年 飛行時間: 406時間



2 番機 (左翼機)
小林 一郎

パラ歴: 9年 飛行時間: 220時間



3 番機 (右翼機)
早風 慎也

パラ歴: 13年 飛行時間: 280時間

3名の精鋭パイロットが、立山インパルスとして演技します。この日のために厳しい訓練を行ってきました。演技は「入場行進 (WalkDown)」から始まります。パイロットのみならず、クルーの動作にもご注目をお願いいたします。

離陸後は、空中でのフォーメーションや演技を行います。訓練の成果をぜひご覧ください。

CREW (DOLPHIN KEEPERS)



森岡学 (地上演技教官・司令) 藤野光一 (飛行教官・N) 東 直 (1番機付長) 渡辺祐子 (1番機整備) 平田法行 (2番機付長 1)



堀田淳 (2番機付長 2) 山本潤 (2番機整備) 清水清一 (3番機付長) 中村稲夫 (3番機整備)

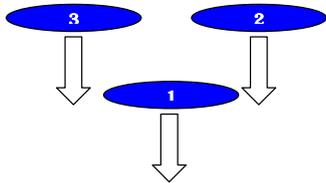
フライトサポートだけでなく、立山インパルスの一員として演技を行います。本来パイロットが行う「退場行進 (WalkBack)」はクルーが行います。彼らの迅速な演技があってこそ立山インパルスの演技が完成するので、きびきびとした動作にもご注目下さい。

演技課題目

気象条件によって演技出来ない場合がございます

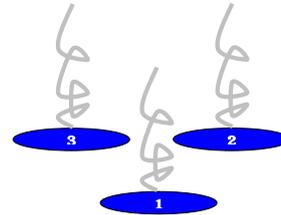
デルタテイクオフ

デルタ隊形でセットされた機体は、その隊形のまま3機同時に離陸します。



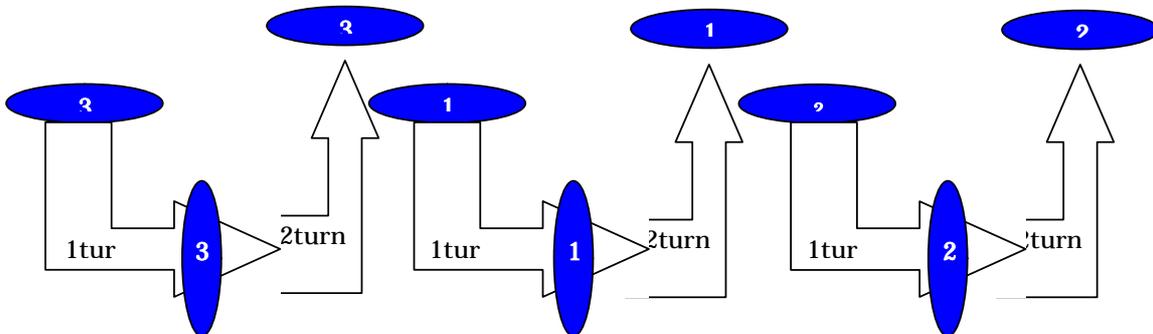
スモーク

離陸後、デルタ隊形を維持しながらスモーク（安全のため紙テープを使用）を展開します。



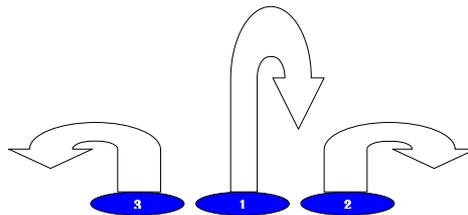
2ポイントターン

スモーク展開後、両翼機が1番機と並列に編隊を遷移し、左90度ターンを2回連続で行います。3機のタイミングが決まるかがポイントです。



アウトブレイクターン

2ポイントターンの後、両翼機がタイミングを合わせてそれぞれが左右180度ターンで散開します。その後1番機が180度ターンを行い、再び編隊を組み直して着陸場へと向かいます。



その他の見どころ...

「立山インパルス」は共通のユニフォームを着用しています。また、応援メンバーによる仮装もがございますので、そちらもご覧いただければと思います。

立山インパルスのホームページもございます。メンバー紹介や製作秘話、エピソードなどが掲載される予定です。こちらをあわせてご覧下さい。

http://pikaichi.info/club/information/2008/tateyama_impulse/index.htm